

## 【8】バスケットボール競技

1 期 日 2026 年 8 月 22 日（土）、23 日（日） 2 日間

| 種 別  | 8 月 22 日（土） | 8 月 23 日（日）          |
|------|-------------|----------------------|
| 成年男子 | 予選リーグ       | 準決勝戦<br>三位決定戦<br>決勝戦 |
| 成年女子 |             |                      |
| 少年男子 |             |                      |
| 少年女子 |             |                      |

2 会 場 滋賀ダイハツアリーナ(滋賀アリーナ)  
〒520-2164 滋賀県大津市上田上中野町 779 番地  
TEL: 077-545-0108

### 3 種別及び参加人員

| 種 別  | 本大会<br>出場府県数 | 監 督 | 選 手 | 参加府県数 | 小 計 | 合 計 |
|------|--------------|-----|-----|-------|-----|-----|
| 成年男子 | 2            | 1   | 12  | 6     | 78  | 306 |
| 成年女子 | 2            | 1   | 11  | 6     | 72  |     |
| 少年男子 | 3            | 1   | 12  | 6     | 78  |     |
| 少年女子 | 3            | 1   | 12  | 6     | 78  |     |

(1) 成年男女において選手と監督は兼任できる。

※今年度の成年女子においては、選手と監督を兼任した場合、選手の人数を最大 12 名登録することができる。

(2) 選手の人数は最大 12 名とする。

### 4 競技上の規定及び方法

- (1) 競技規定は、現行の公益財団法人日本バスケットボール協会競技規則による。
- (2) 各種別参加 6 チームを 2 つのブロックに分け予選リーグを行う。各ブロックの 1 位 2 位チームで準決勝戦、決勝戦・三位決定戦を行う。
- (3) 成年種別の外国籍選手のエントリーは 1 名までとする。  
少年種別の外国籍選手のエントリーは 2 名までとし、オンコートは 1 名とする。  
※公益財団法人日本バスケットボール協会が別途定める「FIBA 若年層（18 歳未満）国際移籍申請」を済ませている者とする。エントリー期限までに申請手続きを終えることとし、申請のない選手の出場は認められない。

### 5 参加資格、所属府県及び選手の年齢基準

第 80 回国民スポーツ大会参加資格、所属府県及び選手の年齢基準によるもののほか次による。

- (1) 本大会に参加する全種別の監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認コーチライセンスに基づく J B A 公認 S 級コーチ、J B A 公認 A 級コーチ（日本スポーツ協会公認コーチ 4）、J B A 公認 B 級コーチ（日本スポーツ協会公認コーチ 3）、J B A 公認 C 級コーチ（日本スポーツ協会公認コーチ 2 / 日本スポーツ協会公認コーチ 1）のいずれかを有するものとする。  
また、ベンチで指揮を執る者（上記いずれかのライセンスを有する者）は、試合前、T O にてサインをする際、必ずコーチ登録証を提示すること。試合中は、コーチ登録証を公益財団法人日本バスケットボール協会指定のネクストラップを使用し、首から下げておくこと。  
本大会に参加するスタッフは、監督 1 名、他スタッフ含めて合計 6 名以内とする。  
※2026 年 5 月末までに登録完了したコーチのみがエントリーできる。  
※トレーナーについては、スタッフ 6 名の枠内にてエントリーすること。

- (2) 選手（予備登録選手を含む）は、公益財団法人日本バスケットボール協会に登録された競技者とする。

○成年男子

- ア 2009 年 12 月 31 日以前に生まれたものが参加できる。
- イ 登録選手は、12 名とする。
- ウ 成年男子代表チームについて、高校 2・3 年生のみの編成は不可とし、高校 2・3 年生の登録できる人数は 5 名以内とする。
- エ 高校 2・3 年生のオンコート的人数や出場を必須にするといった制限は加えない。

○成年女子

- ア 2009 年 12 月 31 日以前に生まれたものが参加できる。
- イ 登録選手は、11 名とする。
- ウ 成年女子代表チームについて、高校 2・3 年生のみの編成は不可とし、高校 2・3 年生の登録できる人数は 5 名以内とする。
- エ 高校 2・3 年生のオンコート的人数や出場を必須にするといった制限は加えない。

※成年男子・女子ともに、「大学の所在地」は所属府県の条件には当てはまらない。従って、「大学の所在地」を根拠とした府県よりの参加はできない。

※成年男子・女子における、早生まれを除く高校 2 年生及び高校 3 年生の参加資格（所在地等）については、当該年 4 月 1 日時点での年齢が成年・少年どちらの年齢域に属するかで判断する。（総則 5(3) 選手の年齢基準に定める年齢による）

○少年男子、少年女子

- ア 中学 3 年生を含む 2010 年 1 月 1 日～2012 年 4 月 1 日に生まれた者が出場できる。
- イ 登録選手は、合計 12 名とする。
- ウ 中学 3 年生の出場は、1 名以上が望ましい。

(3) 外国籍競技者の参加

外国籍競技者の参加については総則 5 (1) アに定めるもののほか、次による。

ア 成年男子・女子

- (ア) 成年種別の選手の参加は 1 名までとする。
- (イ) 早生まれを除く高校 2 年生及び高校 3 年生（2008 年 4 月 2 日～2009 年 12 月 31 日までに生まれた者）の選手を参加させることができる。

イ 少年男子・女子

- (ア) 少年種別の選手の参加は 2 名までとし、オンコートは 1 名までとする。
- (イ) 早生まれの高校 2 年生及び高校 1 年生、中学 3 年生（2010 年 1 月 1 日～2012 年 4 月 1 日に生まれた者）の選手を参加させることができる。

## 6 参加上の注意

- (1) 試合開始 30 分前には到着し、本部にその旨を連絡のこと。
- (2) ユニフォームに関しては、公益財団法人日本バスケットボール協会が定めるユニフォーム規則による。

ア 参加チームは、濃淡 2 色のユニフォームを用意しなければならない。

イ ユニフォームの前面にユニフォームの色と異なり、明確に識別できる単色の文字で都道府県名を付けなければならない。（漢字でなくても良い）

ウ ユニフォームの番号は 0、00 及び 1 から 99 までとする。

エ その他、ユニフォームに付けることができるものの詳細については、公益財団法人日本バスケットボール協会が定めるユニフォーム規則の別表 2 に則る。

オ ユニフォームは、会社名、クラブ名、学校名は必ず完全に見えないように被覆のこと。また、大会参加時に着用するトレーニングウェア（上下）においても同様とする。

## 7 開始式・表彰式

### 《開始式》

日 時 2026 年 8 月 22 日（土） 午前 8 時 30 分～（午前 8 時 00 分開館）  
会 場 滋賀ダイハツアリーナ メインアリーナ  
(第 1、第 2 試合の関係チーム及び滋賀県チーム)

### 《表彰式》

日 時 2026 年 8 月 23 日（日） 全試合終了後  
会 場 滋賀ダイハツアリーナ メインアリーナ  
(各種別、上位 3 チームが参列)

## 8 監督会議

日 時 2026 年 8 月 22 日（土） 開始式終了後（午前 8 時 50 分～を予定）  
会 場 滋賀ダイハツアリーナ 大会議室

## 9 順位決定方法

リーグ戦での順位は、公益財団法人日本バスケットボール協会競技規則（チームの順位決定方法）に準じて決定する。

## 10 その他

- (1) 各都道府県バスケットボール協会は、ブロック大会参加申込み時に全種別について、各種別 24 名まで選手（予備登録を含む）を登録すること。  
なお、本大会参加申込み時の選手（予備登録を含む）については、ブロック大会参加申込み時からの追加を認めない。また、ブロック大会において予備登録選手と変更された選手は、本大会の参加にあたり予備登録選手と同じ扱いとする。  
ただし、少年男子・女子種別における、中学校 3 年生の選手については、24 名の選手（予備登録選手含む）に入れておくことを前提とし、その中で、全国中学校体育大会／第 56 回全国中学校バスケットボール大会（予選含む）に出場したものに関してはブロック大会に出場しなくても本大会に参加できる。
- (2) 参加申込後、特別な事情で選手を交代する場合は、その旨を8 月 22 日（土）の開始式前に大会本部まで所定の様式により届け出ること。  
負傷等で選手を交代する場合は、医療機関の診断書\*を合わせて提出すること。  
エントリー変更をした場合はその選手に限りユニフォーム番号の変更を認める。なお、当該様式の「その他の必要事項」欄には、当該選手のユニフォーム番号及び身長を記入すること。  
また、エントリー変更を申請する場合、変更はあらかじめブロック大会参加申込締切までに登録された「予備登録選手」からのみ認める。

※診断書とは、傷病名・障害名・医師の所見・治療の経緯や現症、結果などが記載されている証明書であり、実際に診察にあたった医師と歯科医師のみが[医師法第 19 条 2 項により]発行できるものである。

「施術報告書」での対応は不可とする。